



アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー 居室用出窓LJ型

取付け説明書

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。※内は、ロットNo.表示位置を示します。

■取付けされる方へのお願い

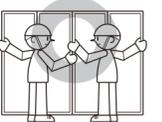
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。
- ▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 出窓の前倒れなどにより障子が脱落する原因になりますので、下記事項をお守りください。
 - ・柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・窓台と間柱は、窓台固定ねじで補強してください。
 - ・下枠補強材と開口部との間にすき間のないよう固定してください。
 - ・補強ブラケットは所定の方法で調整してください。
 - ・屋根は必ず奥まで差込んでください。
- 本製品は複層ガラス使用のため、組立て後の製品重量は最大95kg(屋根を含めると110kg)になります。施工は対応する人数で行ってください。思わぬケガをするおそれがあります。
- 漏水の原因になるおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・躯体と出窓の取合わせ部には防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外壁施工後、躯体と出窓の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。
 - ・屋根用シール材は絶対にはがさないでください。
 - ・屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。
 - ・外壁は52mm以下に仕上げてください。
 - ・出窓下部に造り付け収納部を作らないでください。
 - ・縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

■取付け上へのお願い

- 屋根にはしごをかけたり、のったりしないでください。傷・変形の原因になります。
- 組立て後の運搬は、必ず出窓を立てた状態で行い、枠の接合部に無理な力をかけないでください。変形するおそれがあります。
- テーブル板に衝撃を与えないでください。割れ・欠けなどの原因になります。
- テーブル板保護のため、テーブル板梱包用ダンボールで養生してください。
- 断熱材はぬれると製品に悪影響を及ぼすおそれがあります。取付け後養生しておくか、テーブル板取付け時まで保管しておいてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当たった状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 樹脂部材ねじ止めの際は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。



■取付け部品一覧表

※下表の記号は本文図中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㉠	㉡	㉢	㉣	㉤
名称	皿木ねじ φ3.5×32	ナベタッピンねじ φ4×30	ナベタッピンねじ φ4×55	スクリュー釘 φ2.4×38	縦枠下部防水シール
姿図					
使用箇所	縦枠(室外側)－躯体	水切り－躯体 補強ブラケット－躯体	補強ブラケット－躯体	屋根－躯体	縦枠下部フィン 下枠補強材フィン
袋表示	取付用①				－

記号	㉥	㉦	㉧	㉨	㉩
名称	防水補助シール	万能ビス(ラッパ) φ4.8×90	六角レンチ	皿木ねじ φ3.1×20	皿木ねじ φ3.1×20
姿図					
使用箇所	屋根－縦枠フィン	窓台－間柱	補強ブラケット	上枠－屋根 天板見切り縁－屋根	縦枠(室内側)－額縁 天板見切り縁－額縁 下枠－テーブル板
袋表示	－	取付用1		取付用2	取付用3

■取付け順序

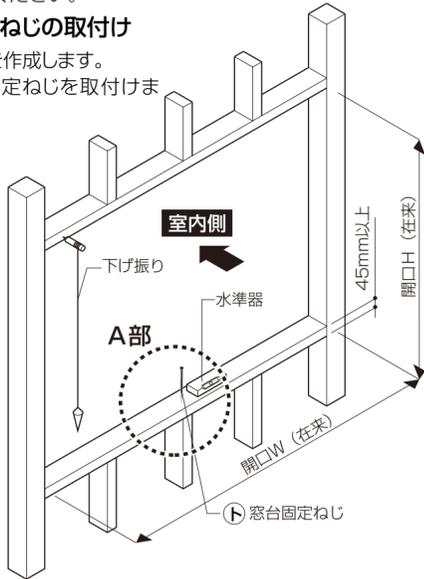
1 開口部の確認・窓台固定ねじの取付け

■取付け詳細

※図中の記号は、取付け部品一覧表の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

1 開口部の確認・窓台固定ねじの取付け

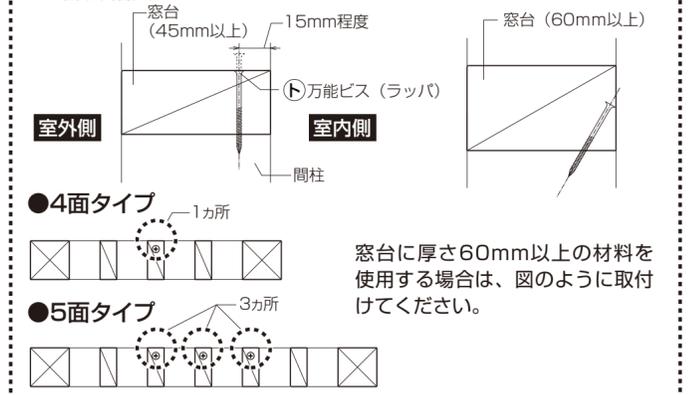
- ①水平・垂直を確認し、開口部を作成します。
 - ②右図の指定箇所に、窓台固定ねじを取付けます。その際、ねじ頭が窓台よりも飛び出さないように固定してください。テーブル板が入らなくなるおそれがあります。
- ※窓台固定ねじの取付けがきつい場合は、窓台にφ5程度の下穴をあけてからねじを取付けてください。



▲注意

- 必ず45×100mm以上の窓台・まぐさ・45mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- 柱・窓台・間柱は室外側を面一にしてください。
- 窓台と間柱は、窓台固定ねじで補強してください。

■A部詳細図



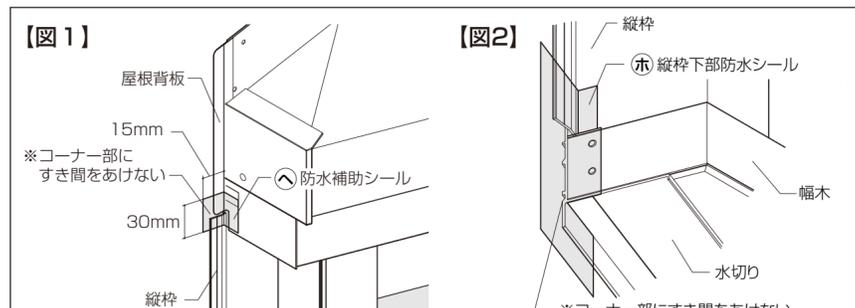
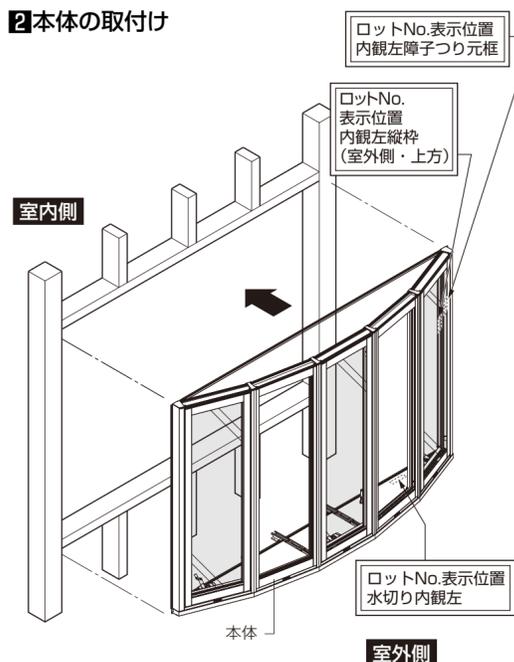
2 本体の取付け

2 本体・屋根の取付け

- ①本体を開口部に差込み、縦枠(室外側)・水切り・補強ブラケットの順で躯体に固定します。
 - ②屋根を本体に差込み、躯体に固定します。
 - ③上枠と屋根を固定します。
 - ④天板見切り縁と屋根を固定します。
 - ⑤縦枠フィンと屋根背板の境目に防水補助シールを張ります。【図1】
 - ⑥本体を躯体に取付けた後、縦枠下部防水シールを張ります。【図2】
- ※コーナー部にすき間ができないように十分押付けて張ってください。

▲注意

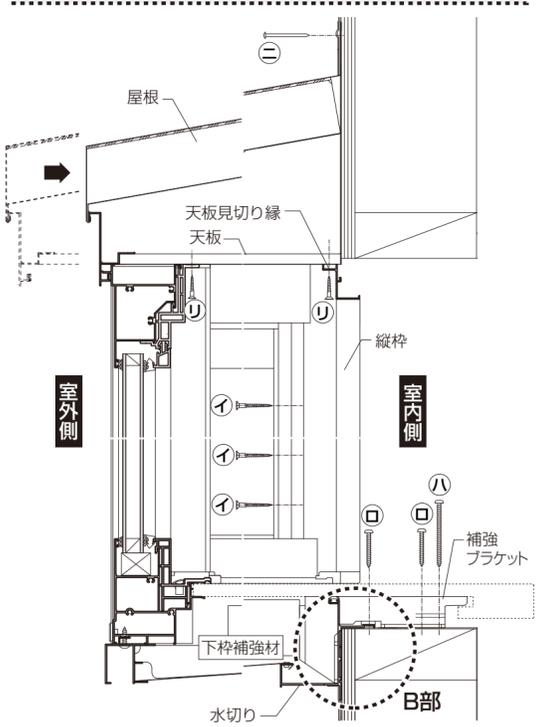
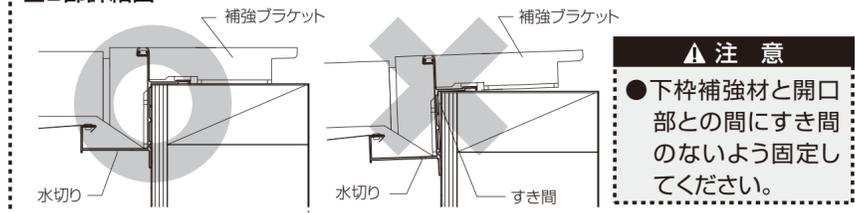
- 屋根は必ず奥まで差込んでから固定してください。固定位置に躯体がない場合は、先に躯体を造作してください。



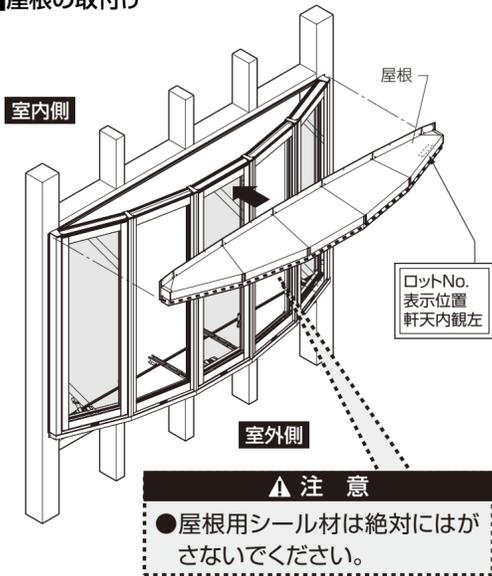
▲注意

- 縦枠フィンと屋根背板・下枠補強材フィンの境目に防水シールを張ってください。

■B部詳細図



3 屋根の取付け



4 FIXガラスの建込み

⑦補強ブラケットの調整ねじを調整します。

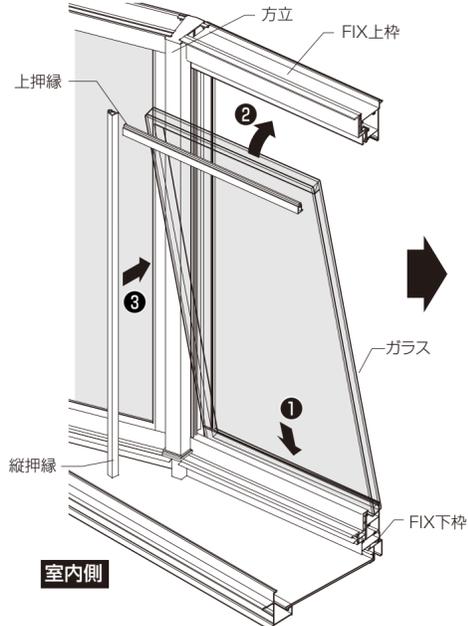
- 部品セットに同梱している六角レンチを使用して、補強ブラケットの側面にある調整目盛りを“0”のところまで調整します。
※5面タイプの場合は左右1目盛りずつ均等に調整してください。
- 補強ブラケット上面に長さ30cm程度の水準器を図のようにあてて、水平度合を確認します。
- 確認時、前倒れ傾向の場合、さらに調整ねじを締め、微調整します。その際、②と同様の確認を行います。また、合わせて障子のロックのかけ具合を確認してください。水平をこえて上げる調整をするとロックがかけにくくなるおそれがあります。

注意

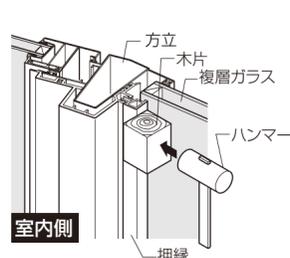
- 補強ブラケットは所定の方法で調整してください。

4 FIXガラスの建込み

①FIX下枠→FIX上枠の順に、ガラスを室内側からはめ込みます。



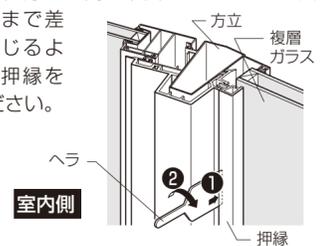
②縦押縁・上押縁の順で押縁に木片を当て、ハンマーで端部よりたたき込みます。



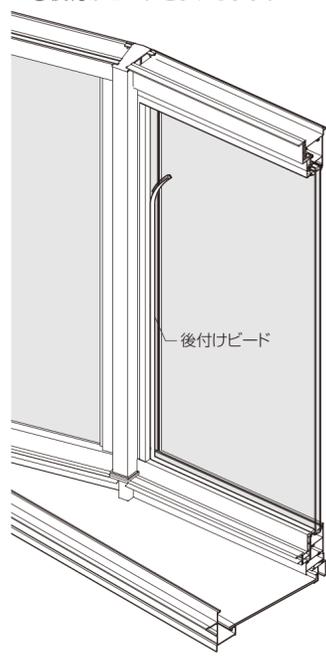
お願い ●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。

FIX部ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁と上枠・方立の間に下図のようなヘラを突き当たるまで差し込み、ねじるようにして押縁を外してください。



③後付けビードをまわします。



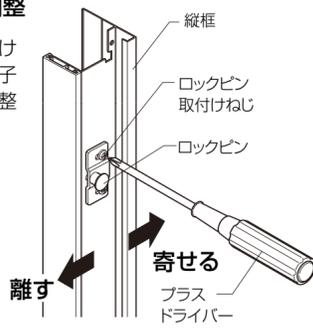
5 障子の開閉確認

5 障子の開閉確認

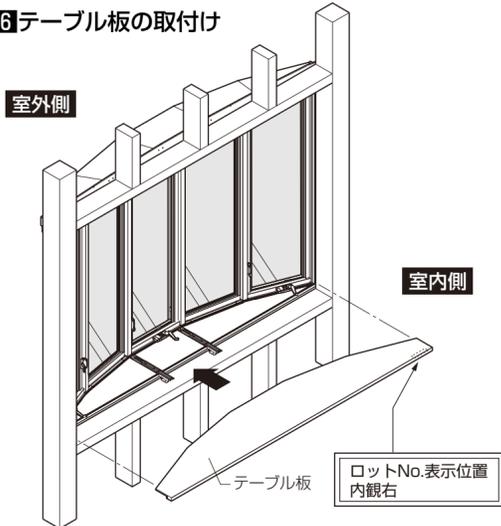
- オペレーターハンドルを回して障子がスムーズに開閉するかどうか確認します。
- 連動バーが障子縦框のロックピンに引っ掛かるかどうか確認します。
※引っ掛からない場合は、右記の要領で調整してください。ロックピンだけで調整できない場合、補強ブラケットが水平をこえて上げられている可能性があります。補強ブラケットを再度調整してください。

ロックピンの調整

- ロックピン取付けねじを緩め、障子の引寄せ量を調整してください。

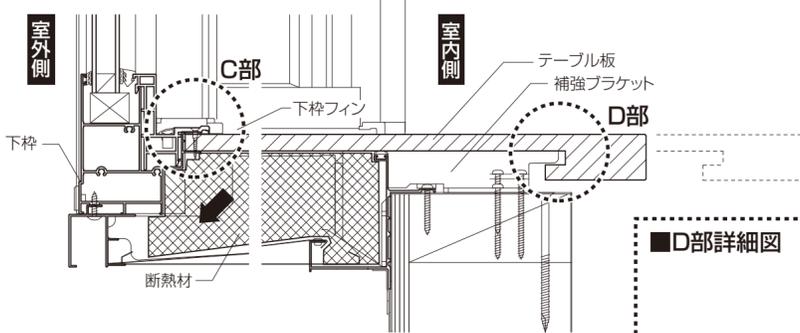


6 テーブル板の取付け

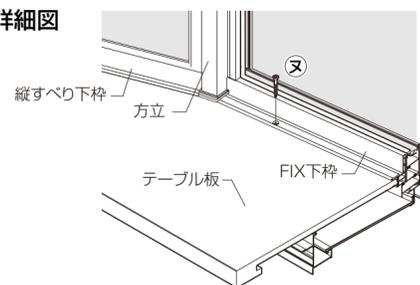


6 テーブル板の取付け

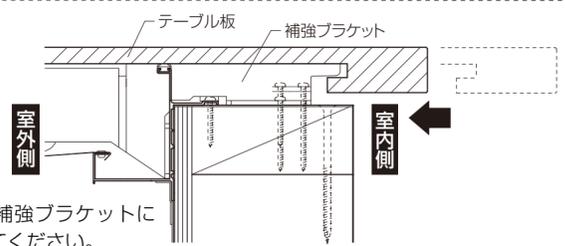
- テーブル板を差込む前に断熱材を下枠の奥まで押込んでください。断熱材がテーブル板にはさまれるおそれがあります。
- 下枠フィン・補強ブラケットに、テーブル板の両端を上から押し、差込んでねじ止めします。



C部詳細図



D部詳細図



※テーブル板は補強ブラケットに必ず引っ掛けてください。

7 造作材 (仕上げ材) と縦框・天板見切り縁の固定